

御池沼沢ニュースレター

平成31年4月25日 Vol.51

今年度もよろしくお願ひします

いつも、御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

4月10日(水)、13日(土)のボランティア作業にご参加いただきまして、ありがとうございます。

10日の作業では、西部指定地の湿地内にある、埋まった水路の清掃作業を行いました。初めての作業なので、スコップで土を掘り直すのが良いのか、水路内に堆積している枯草をどけるだけでいいのかなどがわからず、皆様にいろいろな道具で試していただきました。

結果的には、水路内に堆積している枯草を取り除くだけにしましたが、今後、これらの水路でどのくらい水が流れるか、何か目新しい植物が生えてくるのか、観察していきたいです。



何の植物でしょう？（4月10日に観察した植物）



まっすぐにはなっていない、ちょっとよじれるような感じの細い葉です。

（答え）

シラタマホシクサ→



春先は、これから生えてくる植物のための作業がいろいろあります。皆様、ご協力よろしくお願ひいたします。

5月の活動予定 午前9時30分から

5月11日(土) 西部指定地 タケ対策作業（東ソー労組と協同の作業になります）

5月15日(水) 東部指定地 セイタカアワダチソウ除草作業

5月21日(火) 文化財整理作業所 学習会

5月22日(水) 西部指定地 南端食虫植物保全区域作業

5月29日(水) 東部指定地 松の木周辺食虫植物作業

御池沼沢ニュースレター

令和元年5月27日 Vol.52

5月11日（土）のボランティア作業にご参加いただきまして、ありがとうございました。この日は、東ソー労働組合四日市支部さんとの共同作業でしたが、作業等につきご協力いただきましてありがとうございます。おかげさまで、東ソーさんには、少しはタケノコを持ち帰っていただくこともできました。

11日の作業では、西部指定地の水源林で、タケノコの掘り取り、タケの伐採などタケの駆除作業を行いました。この作業は、平成27年度から始めたタケの駆除事業の一環です。この事業では、他の植物への影響の有無がわからないので、農薬は使用せず、隣地の竹林からタケが侵入しないよう、境界のフェンス際に防竹シートを敷設した上で、指定地内のタケを駆除するというを行っています。これまで、活動日やそれ以外の日にも皆様にご協力いただき、タケを根茎から抜き取ったり、タケを伐採したり、タケノコを刈り取ったり、という作業を行ってきました。

5年目になる今年は、事業の効果が出てきたためか、タケが生育する範囲は狭まってきておりますが、今まであまりタケを見かけなかったところで増えているようです。今しばらくご協力お願いいたします。

何の植物でしょう？（4月10日に生えていた植物）



探すと、東部でも西部でも沢山見かけます。
花は、8月頃咲きます。

（答え）ミズギボウシ



ミズギボウシの花

5月から6月にかけては、これから生えてくる植物のための作業がいろいろあります。皆様、ご協力よろしくお願いいたします。

6月の活動予定 午前9時30分から

- 6月5日（水） 西部指定地 観察橋間ヨシ駆除
- 6月12日（水） 東部指定地 抑制植物駆除
- 6月22日（土） 西部指定地 観察橋間ヨシ駆除
- 6月26日（水） 西部指定地 水源林下草刈り

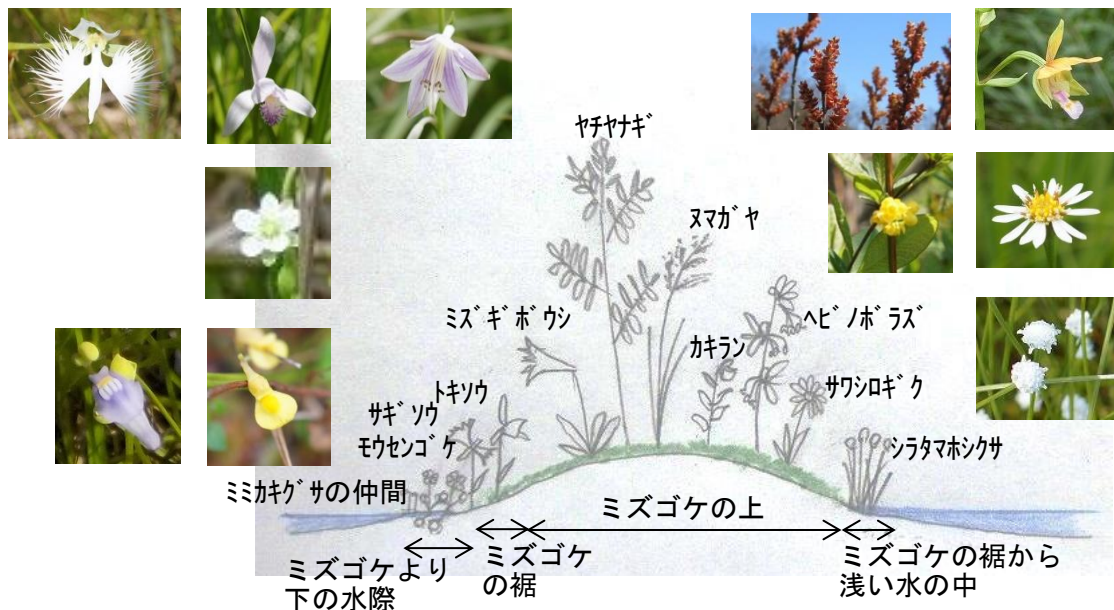
御池沼沢ニュースレター

令和元年6月19日 Vol.53

いつも、御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

6月5日（水）の活動では、西部指定地の中央の観察橋の間の湿地で、ヨシの刈り取り作業を行いました。今年は、湿地を踏み荒らさないよう、足場板を置いて、その上から刈り取ったり、生え始めているサギソウを刈らないような高さで除草したりするなど、いろいろ試行しながら作業を行いました。お疲れ様でした。

これまで作業してきて、湿地の植物といっても、植物によって生育する環境が異なるということは、皆さんもお気づきと思います。西部指定地で観察できる植物について、模式的に生育場所を整理してみました。



今後も、いろいろな植物について、生育環境を観察していきましょう。

7月の活動予定 ※開始時間にご注意ください

7月13日（土） 西部指定地 タケ・抑制植物駆除作業

8時30分から

7月24日（水） 学習会（アカバナ科の学習） 文化財整理作業所

9時30分から

7月31日（水） 西部指定地 ミミカキグサの観察 8時30分から

御池沼沢ニュースレター

令和元年7月19日 Vol.54

平素は、御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

6月12日（水）の活動では、東部指定地で、昨年度に引き続きセイタカアワダチソウの抑制実験のための除草を行いました。

昨年度は、セイタカアワダチソウ群落全体については5月16日に1回、抑制実験箇所は3回（5/16、6/27、8/25）、刈り取りを行いました。

6月12日の作業前に取った写真を見ると、抑制実験箇所のセイタカアワダチソウは、周囲のセイタカアワダチソウよりやや小さく、植物の高さに段差ができており、抑制効果があるようです。

ただし、下の写真の通り、1年ではそれほど大きな抑制効果が出ているわけではありませんので、今年も引き続き刈り取りを行い、同時に集中的な給水を行い、湿生植物の生育を促しながら、様子を見ていきたいと思えます。



＜6月12日の作業前の様子＞

抑制実験箇所とその周囲で、セイタカアワダチソウの高さに、10～15 cm程度の差がついています（写真の白矢印が指しているあたりに段差ができています）。

何の植物でしょう？（6月22日に作業をしました）



茎にトゲがあり、軍手にくっつきます。

成長すると藪になってしまいます。

（答え）

アキノウナギツカミ



8月の活動予定

8月24日（水） 西部指定地 ミミカキグサの観察 **8時30分**から
※学習会については、追って連絡いたします。

御池沼沢ニュースレター

令和元年 8月 16日 Vol.55

残暑お見舞い申し上げます。御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

西部指定地中央観察橋付近の湿地は、ここ3年間、毎年、6月に刈り取りを行っています。今年作業を行ってみて、昨年度より、ヨシが少なくなったように感じました。そこで、写真で比較してみたいと思います。



平成 29 年 6 月 7 日



平成 30 年 6 月 7 日



令和元年 6 月 5 日

写真を比較すると、平成 29 年と平成 30 年とはあまり変わりがないように見えます。これに対して、写真の撮り方かもしれませんが、令和元年は、ヨシがまばらなように見えます。

ヨシは多年草ですので、生育時期に葉が刈り取られることで光合成ができなくなり、次の年の萌芽のための栄養が蓄えられず、また、花が咲かないので種もできず、相乗効果で減ってきたということかもしれません。来年度以降も観察していきたいですね。

9月の活動予定 ※開始時間にご注意ください

- 9月7日(土) 西部指定地 抑制植物駆除作業
8時30分から
- 9月18日(水) 東部指定地 セイタカアワダチソウ駆除作業
8時30分から
- 9月25日(水) 学習会(予定・キキョウ科の学習)
文化財整理作業所 9時30分から

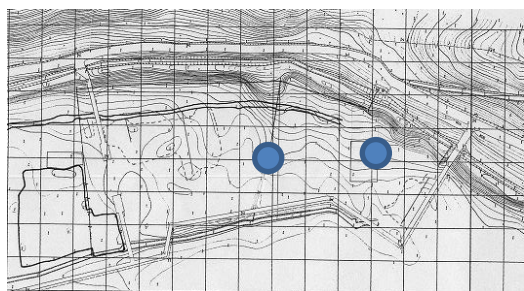
御池沼沢ニュースレター

令和元年9月11日 Vol.56

いつも、御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

6月26日に、西部指定地で、セイタカアワダチソウの抜き取り作業を行いました。作業の際、ミズギボウシの葉が沢山あるのを見ておりますが、最近確認したところ、2か所ともミズギボウシの群落になっていました。

ミズギボウシは、東部・西部どちらにもあり、又マガヤの蔭などでひっそりと咲いています。今回の場所のように、日当たりを良くすると、もっと沢山咲くかもしれませんね。



作業した場所



6月26日の作業の様子



群落の状態（薄紫に見えるのがミズギボウシ）



ミズギボウシの花

10月の活動予定 **9時30分から※開始時間にご注意ください**

10月19日（土） 東部指定地 抑制植物の駆除

10月23日（水） 東部指定地 抑制植物の駆除

視察研修のお知らせ

10月9日（水）に、視察研修で愛知県武豊町の壱町田湿地に行きます。

9時、文化財整理作業所集合です。

参加をご希望の方は、車の手配の都合上、必ず石毛までお声掛けください。9月30日（月）締切。ご参加お待ちしております。

御池沼沢ニュースレター

令和元年9月17日 Vol.57

いつも、御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

10月9日（水）に、愛知県知多郡武豊町の吉町田湿地植物群落の視察研修を予定しております。

吉町田湿地では、湿地の現状や保護活動について、武豊町歴史民俗資料館職員やボランティアの方よりご説明いただきます。今回は、吉町田湿地について簡単に紹介します。

〈愛知県指定天然記念物 吉町田湿地植物群落〉

○所在地 愛知県知多郡武豊町字吉町田 355

○指定年月日 昭和59年3月30日

○広さ 約11,000㎡

○概要

吉町田湿地は、武豊町北西部の標高30～40mのなだらかな丘陵地帯にあります。周辺は昭和30年代前半に臨海工業地帯の埋め立て用土砂の採掘によって急変し、昭和57年から湿地周辺の丘陵地が農業基盤整備事業によって農地開発されることになりました。そこで武豊町は湿地を含む11,000㎡をフェンスで囲い貴重な植物群落を保護地に指定しました。そして、昭和59年に愛知県指定天然記念物となり、平成11年には愛知県自然環境保全地域に指定されています。

保護地内には、国内に自生地が僅かしかないシロバナナガバノイシモチソウや東海地方固有種のヒメミミカキグサをはじめとして7種類の食虫植物が自生しています。

また、東海地方固有種のシラタマホシクサや寒冷地性のイワショウブなどの湿地性食物が多数自生しています。このほか、各種のトンボ類や中部から西日本の一部にのみ分布する水辺の昆虫ヒメタイコウチも生息しています。

なお、令和元年度の一般公開は5回ありましたが、全て終了しています。

○参考資料

・武豊町教育委員会「吉町田湿地植物群落」2018年7月 パンフレット

10月の活動予定 9時30分から※開始時間にご注意ください

10月19日（土） 東部指定地 抑制植物の駆除

10月23日（水） 東部指定地 抑制植物の駆除

視察研修のお知らせ

10月9日（水）に、視察研修で愛知県武豊町の吉町田湿地に行きます。

9時、文化財整理作業所集合です。

参加をご希望の方は、車の手配の都合上、必ず石毛までお声掛けください。9月30日（月）締切。ご参加お待ちしております。

御池沼沢ニュースレター

令和元年9月30日 Vol.58

いつも、御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

今年度も半年を過ぎ、これまでは、今年の秋までに生えてくる植物のための環境整備作業として除草等を行ってきましたが、これからは、来年の春以降生える植物に向けた取り組みにシフトしていきます。

ボランティア活動も4年目になり、皆様が作業やその意義を良くわかって取り組んでいただいているおかげで、今まで作業をしてきた部分については、良好な状態が維持できておりますが、今年になり環境の悪化が顕著になってきたところがあります。今後の取り組みを考える参考のため紹介します。

<東部指定地>

ツルマメが広い範囲で繁茂しています。9月7日(土)に、松の木近くの食虫植物保全区域近くで、花が咲いている状態(種ができる前)で刈り取りましたが、まだまだあります。

ツルマメの種は熟すとはじけ飛びますが、植物についたままのものもあると思います。12月の全面除草の時には、刈り取った植物の集草に気を付けて、種を広げないようにしたいです。



<西部指定地>

シラタマホシクサ保全区域に、アキノウナギツカミが繁茂しています。6月22日(土)に抜き取りをおこないましたが、その後、さらに増えています。

アキノウナギツカミは、根元に閉鎖花を付け、種を作ることもあるということなので、1年草ですが、できるだけ抜き取りたい植物です。



10月の活動予定 ※開始時間にご注意ください

10月9日(水) 視察研修(愛知県武豊町 壱町田湿地)

集合9時 文化財整理作業所

(参加をご希望の方は石毛まで)

10月16日(水) 学習会(アカネ科) 文化財整理作業所

9時30分から

10月19日(土) **9時30分から** 東部指定地 抑制植物の駆除

10月23日(水) **9時30分から** 東部指定地 抑制植物の駆除

御池沼沢ニュースレター

令和元年10月30日 Vol.59

いつも、御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただき、ありがとうございます。

先日(10/9)の吉町田湿地植物群落の視察研修では天候にも恵まれ、気持ち良く湿地の様子を観察することができました。他の湿地を視察することにより、御池沼沢にはない植物の様子やこれまで気づかなかった保全活動について学ぶところがたくさんあったのではないのでしょうか。そこで、今回は、僕なりに吉町田湿地視察研修で感じたことを書きたいと思います。

<植物について>

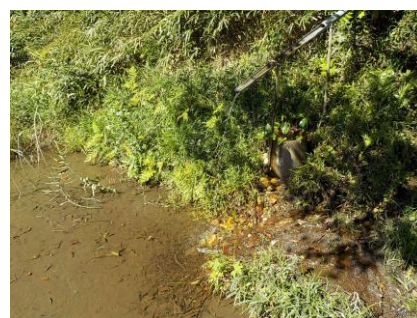
吉町田湿地では、御池沼沢では見られない(発見できなかった)ヒメミミカキグサを見ることができました(嬉!!)。1cmくらいの大きさではありましたが、ピンク色の綺麗な花でした。残念ながら、シロバナナガバノイシモチソウの花は見られませんでした。埋土種子の発芽実験を行っているということで、御池沼沢でも参考にしたいところです。

また、吉町田湿地ではヌマガヤを根から除去したと教えていただきました。御池沼沢でもセイタカアワダチソウやアキノウナギツカミなど、除去したい植物がたくさんあります。そうした植物とどのように向き合っていくか、考えさせられました。

<環境について>

守る会の方の話では、湧水が季節に限らず流れていて、その湧水をポンプで汲み上げて循環利用させているということでした。水が豊富で、湿地にとってはありがたいことだと感じました。また、地形が丘陵であり、礫層の下に粘土層があることから、水が全て浸み込んでいかずにほどよく流れる状態で、湿地としてよい環境にあるなと感じました。御池沼沢でも水をどのように行き渡らせるべきか。課題のひとつです。

(最近やっと植物の名前がわかりかけてきたY)



11月の活動予定

- 11月16日(土) 9時30分から シラタマホシクサ保全作業 西部指定地
- 11月20日(水) 9時30分から 学習会 アオイ科
- 11月27日(水) 9時30分から 冬季除草準備 東部指定地

御池沼沢ニュースレター

令和元年 11月 21日 Vol.60

いつも、御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

今年の1月12日に、西部指定地のヤチヤナギ群落で除草作業を行いました。この作業の際、生えていたイヌツゲも根こそぎ抜き取っていただきました。

この春以降、どのような状況になるか観察しましたが、カキラン・ヘビノボラス・ミカツキグサなどが生育する良い感じの場所になりました。

特に、ヘビノボラスはたくさん生育しており、現在、紅葉がきれいです。ヘビノボラスは木なので、今後除草作業の時期取り取らなければ、ヘビノボラスの群落になっていくことでしょう。(A)



1/12の作業後の様子



11/16(赤っぽくみえるのがヘビノボラス)



1/12作業の様子



ヘビノボラス(花)



ヘビノボラス(実)

12月の活動予定

12月8日(日) 8時30分 寺方町文化財整理作業所(送迎あり)
東部指定地の全面除草を地域の方々と行います。
ご参加いただける方は、石毛までお声掛けください。
雨天の場合、次週15日(日)に延期です。

12月18日(水) 9時30分 西部指定地 ヤチヤナギ区域除草

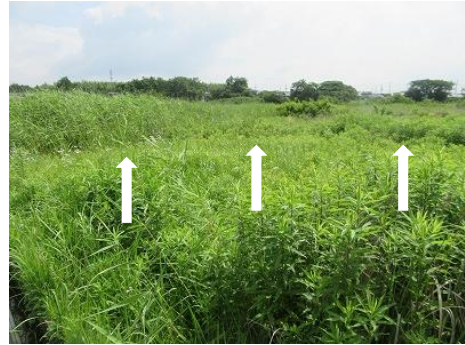
御池沼沢ニュースレター

令和元年 12月 24日 Vol.61

いつも、御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

昨年度から始めたセイタカアワダチソウの抑制実験について、今年の成果を整理します。

昨年度は、3回刈り取りを行い、その結果、今年の作業前には、10～15 cmほどセイタカアワダチソウの高さが周囲より低かったことは、ニュースレターvol.54でお知らせした通りです（右写真）。



また、昨年度は、2回の刈り取りにより、秋ごろには、刈ったところと刈っていないところの植物の高さに30 cm程度の差が出ました。今年は、刈り取り1回で、差は100～160 cm程度でしたので、抑制効果が出ているようです。

今年はさらに、刈り取り範囲に、消防ホースで水をまきました。刈り取り範囲は、西側が低く水が溜まるような状態（写真下右）で、その部分には、カヤツリグサ科の植物が多くなりつつあります（写真下左 茶色っぽく見える植物）。セイタカアワダチソウの成長は、刈り取りで抑制できそうですが、生育するかどうかについては、水環境がポイントのようです。

カヤツリグサ科の植物が多くなった状態



水が溜まっている状態

それでは、よいお年をお迎えください。来年もよろしく申し上げます。

1月の活動予定 9時30分から

1月11日（土） 西部指定地 ヤチヤナギ群落周辺除草作業

1月22日（水） 西部指定地 中央観察橋間の除草作業

四日市市教育委員会 社会教育・文化財課 TEL059-354-8240

御池沼沢ニュースレター

令和2年1月6日 Vol.62

あけましておめでとうございます

本年もよろしくお願いいたします。

ボランティア活動を始めて4回目の新年を迎えました。お気づきと思いますが、ボランティア活動での作業の多くは、保存したい植物が生育している決まった場所で、決まった季節に行っています。

この定例的な作業は、毎年、下のようなスケジュールで行っています。

季節	東部指定地	西部指定地
春 (4~6月)	食虫植物保全区域（松の木近く）除草 セイタカアワダチソウ除草	タケノコ対策 食虫植物保全区域（南端）除草 湿生植物保全区域（中央）ヨシ駆除
夏 (7~9月)	セイタカアワダチソウ除草	抑制植物（セイタカアワダチソウ等）駆除
秋 (10・11月)	抑制植物（セイタカアワダチソウ等）駆除	シラタマホシクサ保全区域除草・シラタマホシクサの播種
冬 (12~3月)	全域除草（食虫植物保全区域含む） ミクリガヤ保全区域除草	全域除草 ヤチヤナギ周辺除草 湿生植物・食虫植物保全区域除草

「継続は力なり」と言います。皆様のご協力のおかげで、例えば食虫植物の生育範囲は、東部指定地でも西部指定地でも広がってきています。先月、12月9日には、大池中学校1年生の生徒が、東部指定地でトウカイコモウセンゴケの生育範囲が広がっていることを見つけてくれました。



トウカイコモウセンゴケ

上の予定した作業以外に、東部指定地に出現したホウキギクなど、年替わりで出現する予想外の抑制植物への対応もしてきました。このような植物は、大きくなってしまってから初めて気が付くことが多く、駆除に労力がかかります。早い段階で駆除できるよう、御池沼沢に外から入り込んでくる植物を、もっと早く発見できるようになりたいと思っています。

皆様とともに、御池沼沢植物群落を、もっと湿地の植物にあふれた魅力的な場所にしていきたいと思っています。今年も、お力添えをお願いいたします。
(A)

1月の活動予定 午前9時30分から

1月11日（土） 西部指定地 ヤチヤナギ群落周辺除草作業

1月22日（水） 西部指定地 中央観察橋間の除草作業

御池沼沢ニュースレター

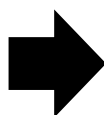
令和2年1月22日 Vol.63

いつも、御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただき、ありがとうございます。

少し前の話になってしまいますが、恒例「御池沼沢植物群落（東部指定地）冬季除草作業」が令和元年12月8日（土）に行われました。環境保全ボランティアのみなさまをはじめ、公募ボランティア、ふるさと三重を愛する会、大池中学校教職員、大池中学校の子どもたちに協力いただきました。ありがとうございました。こうした活動の積み重ねが、御池沼沢の植物の生育環境向上（あるいは維持）につながっています。そして、人と人とのつながりが、御池沼沢植物群落の環境保全につながっていると感じています。



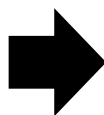
東部指定地 除草の様子



東部指定地 除草後の様子



大池中学校 集草の様子



集草後

2月の活動予定 9時30分から

- 2月 2日（日） 8時30分寺方町文化財整理作業所（送迎あり）
西部指定地中央観察橋南側の除草を地域の方々で行います。
ご参加いただける方は、三厨までお声掛けください。
雨天の場合、次週9日（日）に延期です。
- 2月 5日（水） 西部指定地 中央観察橋間の除草作業
- 2月19日（水） 西部指定地 南側観察橋周辺の除草作業

御池沼沢ニュースレター

令和2年2月13日 Vol.64

いつも、御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。また、12月・2月と御池沼沢植物群落の冬の除草作業にご協力いただきありがとうございました。特に、西部指定地は、1月22日と2月5日の活動で、例年よりも広い範囲の除草と集草を行うことができたので、湿地の植物が増えることが期待できます。

今号・次号で、令和元年度の保全種の増減について整理します。まずは、西部指定地です。

昨年より数が増えたもの	カキラン・ミズギボウシ・サワシロギク・ムラサキミミカキグサ
例年より少なかったもの	シラタマホシクサ・ノカンゾウ・ミミカキグサ・ノハナショウブ・サワヒヨドリ

シラタマホシクサは、同じところに増殖しているアキノウナギツカミの対策をしなければなりません。

西部指定地のミミカキグサは、東部指定地より2週間程度遅れて開花するところ、今年は1か月くらい遅れていました。ミミカキグサが少なかった原因は不明ですが、気象条件も関わっているかもしれません。

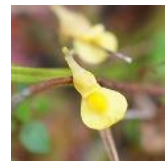
ムラサキミミカキグサが多くなったのは、去年の冬に、水路の除草・集草を徹底して行った結果だと思えます。

ノハナショウブとサワヒヨドリが少なかったのは、多く見られる湿地南半分を昨年除草しなかった影響と思われる。今年は除草したので期待できると思えます。

ノカンゾウは、湿地内に葉は多くみられるので、開花するよう日照などの条件を整える必要があります。



シラタマホシクサ



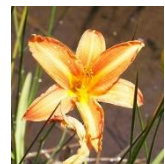
ミミカキグサ



ノハナショウブ



サワヒヨドリ



ノカンゾウ

3月の活動予定

3月4日(水) 文化財整理作業所 令和2年度活動計画打ち合わせ

9時30分から

3月14日(土) 文化財整理作業所 令和2年度説明会

10時から

御池沼沢ニュースレター

令和2年3月2日 Vol.65

いつも、御池沼沢植物群落の貴重な植物の保護にご協力いただきまして、ありがとうございます。

前号に引き続き、令和元年度の、東部指定地の保全種の増減について整理します。

数が増えたもの	サワギキョウ・トウカイコモウセンゴケ・マツカサススキ
見られなかったもの	ハルリンドウ

ハルリンドウは、3年連続咲いていません。1輪でも咲いていないか、3月から4月初めに探していきたいです。

サワギキョウは、説明板の南側のヨシが繁茂している一角に、かたまって見られました。ヨシ群落の中にも生育しているかもしれません。

マツカサススキは、平成21年度の植生調査後しばらく見かけませんでしたが、ここ3年続けて花を咲かせました。多年草なので今年も見られることを期待したいです。

トウカイコモウセンゴケは、湿地の中でも、少し高くなっていて、表面に水が見えない環境を好むようなので、生育範囲が広がるのが、陸地化・乾燥化につながっていかないか、周囲に点在するササの動向も合わせて、注意してみたい必要があります。



ハルリンドウ



マツカサススキ



サワギキョウ



トウカイコモウセンゴケ

3月の活動予定

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月4日（水）の令和2年度活動計画打ち合わせと、3月14日（土）の令和2年度説明会は中止します。来年度の計画は、新型コロナウイルスの状況次第ですが、3月18日の学習会の時に連絡します。新規応募者には、個別対応します。

3月18日（水） 文化財整理作業所 学習会（予定 ツバキ科）
9時30分から（予定追加）

お知らせ

現在、広報よっかいち2月下旬号で、令和2年度の環境保全ボランティアの募集をしています。来年度も引き続きご参加いただける方は、三厨・山根・石毛までお声がけください。

御池沼沢ニュースレター

令和2年3月25日 Vol.66

1年間ありがとうございました

令和元年度も環境保全作業や、視察研修、学習会にご参加いただきありがとうございました。今年度の主な活動を振り返ってみました。



4/10 西部
ヤチヤナギ周辺除草



4/13 東部
ハンノキの駆除



5/11 西部タケ対策



6/5 西部
中央観察橋ヨシ刈り取り



10/9 壺町田湿地視察



10/19 東部セイタカ
アワダチソウ除草



11/20 カタバミ科植物
の学習会



12/8 東部除草作業



1/11 西部
ヤチヤナギ周辺除草

来年度もよろしくお願いたします。

4月の活動予定 午前9時30分から

4月 8日(水) 西部指定地 タケノコ・タケ対策

4月11日(土) 東部指定地 ハンノキ・アカメヤナギ伐採

4月22日(水) 西部指定地 南北観察路沿い除草